

～ 「新型コロナウイルス感染症」後の新しいパラダイムで
「自己保健能力」の高い学生人材輩出 と これからの健康経営を
マーケティング視点で考える産学連携プロジェクト～

『「健康」×「マーケティング」コンペティション 2023』実施のご報告

● 主催

一般社団法人 社会的健康戦略研究所

● 参加企業団体

アクサ生命保険株式会社

IKIGAI WORKS 株式会社

株式会社富士通ゼネラル

一般社団法人 社会的健康戦略研究所

● 参加大学

7大学から15チームが参加

関東 専修大学 商学部 (大崎准教授)

和光大学 経済経営学部 (大野准教授)

神奈川大学 経営学部 (中見准教授)

関西 大阪経済大学

中部 名古屋学院大学 商学部 (濱教授)

九州 西南学院大学 商学部 (三井准教授)

九州産業大学 商学部 (脇准教授)

● 実施スケジュール

6月30日 開会・オリエンテーション、課題提供

7月10日 担当企業団体確定

8月 企業団体別中間報告の実施

9月8日 企業団体別ピッチの実施、表彰式・閉会

● ピッチコンペティション オンライン実施

4つの企業団体からの課題に対し、各チームから様々なマーケティング視点で、熱量のあるプレゼンテーション、甲乙つけがたいアイデアが披露された。

● 結果

【アクサ生命保険株式会社】 5チーム参加

課題：大学生にとって理想の会社、理想の職場環境について考察しよう

大賞	西南学院大学	三井ゼミ	岩下チーム
2位	神奈川大学	中見ゼミ	那須チーム
3位	名古屋学院大学	濱ゼミ	日隈チーム

【IKIGAI WORKS 株式会社】 5チーム参加

課題：学生による IKIGAI 企業の採用ブランディング戦略

大賞	西南学院大学	三井ゼミ	守住チーム
2位	専修大学	大崎ゼミ	小坂田チーム
3位	大阪経済大学	俵チーム	

【富士通ゼネラル】 3チーム参加

課題：「健康経営 3.0」を考える!!

大賞	西南学院大学	三井ゼミ	菅原チーム
2位	九州産業大学	脇ゼミ	甲斐チーム
同2位	神奈川大学	中見ゼミ	名幸チーム

【社会的健康戦略研究所】 2チーム参加

課題：大学生は就職する前にどうやったら健康を意識し、行動するのか

大賞	九州産業大学	脇ゼミ	八尋チーム
2位	神奈川大学	中見ゼミ	柳林チーム

● 次回

『社会的健康ピッチコンペティション 2024』（予定）

決まり次第、当ホームページで発表します。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人 社会的健康戦略研究所（学域運営委員 篠原）

e-mail：shinohara@kenko-senryaku.or.jp

*各大賞チームの評価

【アクサ生命保険株式会社】西南学院大学 三井ゼミ 岩下チーム

理想の働き方について既存理論を踏まえ、自分たちの目線で働きやすさを再定義した点はとてもよかったです。

また鬼滅の刃を用い、働きやすい組織の仮説を考えた点もとてもよかったです。

提案のネーミングと内容についてもよかったです。

【IKIGAI WORKS 株式会社】西南学院大学 三井ゼミ 守住チーム

(全体)

働きがいや生きがいの定義について、学生が作成しているところが素晴らしい。IKIGAI 企業インタビューは学生自ら企業をピックアップして、本番もとても上手に実施していた。しかも2社インタビューすることによって、マイモノサシによる企業評価をすることもできた。そこでの2社の違いから、先天的マイモノサシという新しい概念も提案してくれている。

PR 戦略はインタビューでの経験を生かしたアイデアで、ストーリーというか説得力がある。カチガッチというネーミングセンスも秀逸だった。これからの就活はまず「かちがっち」から。そんなムーブメントが起こる予感がした^^

(マーケティング)

論理展開が分かりやすく、全体を通じて話の筋が明確であると感じました。

「聞いてもらいたい」という質問を投げるのであれば、回答のスライドは用意していてもよかったのではないかと感じました。

生きがい、働きがいを再定義する点はとてもよかったです。

マイプロの発表と気づきも簡単にまとめた点から新しい提案をしていった点もとてもよかったです。

【富士通ゼネラル】西南学院大学 三井ゼミ 菅原チーム

2次データを使った現状分析からの問題発見・課題設定が思い込みではなく適切だと思いました。明確な問題・課題が提示されているため、その後の内容も焦点を絞って聞くことができました。部下を褒めることが難しいという点について、なぜそれが難しいのかという掘り下げがあればより深い分析ができるのではないかと感じました。また、ほめることが難しいから「ノクリア君」という非現実の存在がほめてくれることが、現実の人物がほめることと同等であるという根拠があればよりよかったです。

内容のレベルはとても高いと感じましたので、プレゼン時間が収まっていなかったことが悔やまれます。

【社会的健康戦略研究所】九州産業大学 協ゼミ 八尋チーム

(全体)

コーピングリストという具体的な対策まで提示し、自分でできることを提案し、さらに実行してみているのは、素晴らしいですね。惜しむらくは、この素晴らしい提案の広め方まで考えてもらえれば、もっと良い提案になったと思いました。

(マーケティング)

現状分析から提案までのロジック展開はとてもわかりやすかったです。

提案のアイデアについて、発想は学生らしくて面白かったです。

ただ、割引やシェア(見える化)が有効に作用するという、何かしらの根拠が示されれば、なおよかったのではないかと思います。

以上